

学校 教育 目標	人や自然に進んで関わり、自ら学びを高め、心豊かにたくましく生きていく力を育てます。 ～自己教育力とコミュニケーション力の育成～			
	創立 119 周年	学校長 田川 斉史	副校長 深井 知英	学期制 一般学級：19 個別支援学級：4
学校 概要	児童生徒数： 614 人		主な関係校： 横浜吉田中学校 老松中学校	

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	横浜吉田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<グローバル化の中で生きる力> <自分づくりに関する力> <確かな学力>	横浜吉田中学校 本町小学校 みなとみらい本町 小学校 南吉田小学校	<p>持続可能な未来の社会を創る担い手として</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎まちを愛し、役立つ意識を高め、関わり・つながりを大切にすることも ◎多様性を尊重し、共生する力をもつ子ども ◎自分を律し、人を思いやる優しさをもつ子ども ◎学びの基礎・基本を身につけ、心身ともにたくましく生きる子ども ◎身につけた知識・技能のもと主体的、協動的に課題解決に向かう子ども <p>・小中学校の授業研究会に参加し、学習について学びの確認と授業力向上</p> <p>・児童生徒に関する継続的な情報共有と指導についての共通理解</p> <p>・小中合同あいさつ運動の実施等、児童生徒交流の場の設定 ※学家地連事業の協働</p> <p>・国際教室、個別支援級、小中連絡会について各校種間の相互理解とその促進</p> <p>・ブロック内で育成を目指す資質・能力の9年間で育てる学びのつながり・具体的取組について継続的な協議の実施</p>

中期 取組 目標	<p><響き合い 輝く未来へ つながろう></p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども一人一人が生き生きと楽しく生活が送れる、安心安全な学校を目指します。 ○思いや願いの実現に向けて、主体的に考え行動し、発見した問題をよりよく解決する力を育みます。 ○「一人一人が分かる、楽しい」授業づくりをめざします。 ○多様性を尊重し、自分や他者のよさを認める態度を育みます。 ○同僚性・協働性の高いチーム本町を目指し、全職員で研究・学校運営に努めます。 ○伝統を継承しつつ新しい学校を創造し、家庭・地域と深くつながる、愛され信頼される学校づくりをめざします。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 確かな学力	① 地域や家庭と連携し、「読書タイム」の設定、「読書カード」の活用、読み聞かせなどによって、読書活動を充実させます。 ② 地域の人やものを生かすことによって、導入の工夫や体験活動の充実を図ります。
担当 確かな学力部会	
徳 豊かな心	① 職員からあいさつの意識を高め、朝の指導や委員会活動などを通して、友達や教職員、来校者に進んで気持ちのよいあいさつが日常化できるよう取り組みます。② 全校で取り組む人権のテーマを決めて、子ども一人一人がめあてをもって取り組み、定期的に振り返りを行うことで人権意識を高めます。
担当 豊かな心部会	
体 健やかな体	① スポーツ月間を年に3回設定し、体力の向上を図ります。スポーツ月間中は、週に1回運動します。② 各学年の教科の中や給食時間に動画などを利用し、食育指導をし、食育指導を推進します。③ 学校保健委員会を全校で年2回行い、児童の健康に対する意識を高める取り組みを行います。
担当 健やかな体部会	
公開 地域学校協働活動	① 学校運営協議会の方に、授業を参観してもらったり、職員との話合いの場を設けたりして意見をいただき学校の運営力を高めます。② 学校・地域コーディネーターと連携し、地域学校協働本部を立ち上げ、学校のニーズを元に、下校指導、学習支援などの連携のあり方を探ります。
担当 教務	
特別支援教育	① 学習や生活の支援が必要な子どもについて、保護者の意向を確認しながら、わいわい教室(国際教室)やチャレンジ教室(週1回程度の個別指導)等を行います。② 特別な支援を要する児童について職員全体で共通理解を図り、指導や支援に生かすために適宜情報共有をしたり、必要に応じて研修会を行ったりします。
担当 豊かな心部会・児童支援専任	
いじめへの対応	① 情報の共有や引継ぎを確実に行うことで、児童の状況の把握に努め、意図的な指導を行います。② 月1回、いじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努めます。③ 年2回のいじめアンケートと日常の授業、児童指導の中で、些細な変化を見逃さない体制づくりをします。
担当 児童支援専任	
人材育成・組織運営(働き方)	① メンター研や初任研を計画的に進め、経験が浅い教員が先輩に自然に教われる環境を整え、自信をもって学級経営に取り組めるようにします。 ② 会議や保護者アンケートなどをICTを活用して行い、業務の削減を目指します。
担当 教務	
担当	b8
担当	
担当	b9
担当	
担当	b10
担当	